

5 「話すこと [やり取り] イ」の「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価するテスト

(1) 改善前のテスト Before

<p>2年生対象のスピーキングテスト問題と採点基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Were you (busy / tired / sad / happy ) yesterday?</li> <li>• What were you doing at 6:00 this morning?</li> <li>• What did you do last night?</li> <li>• What are you going to do next Sunday / Saturday?</li> </ul> <p>(以下略、教師と1対1による面接方式で実施)</p>	<p>【採点基準】</p> <p>3点…文法的に正しく内容が適切</p> <p>2点…誤りはあるが内容が伝わる場合</p> <p>1点…内容が伝わらない場合</p>
---	--



【改善前のテストの問題点】

- コミュニケーションを行う目的や場面、状況等がなく、一問一答形式であること
- 内容よりも「正確さ」に焦点をおいた評価になっていること



(2) 改善に向けて (教科会での検討 )

① 「学年ごとの目標」(CAN-DO リスト)を共有し、教師も生徒も目指す姿を明確にする。

「2年生の目標」(話すこと [やり取り]) (CAN-DO リスト)

自分の考えを述べたり、質問をしたりして会話を継続・発展させることができる。

【目指す姿が実現している[やり取り]】

(例) A: (前略) I think AI is great. Yesterday I read the article about an AI fridge. It said the fridge tells us what we can cook with foods in it. What do you think about AI?

B: I agree with you. Our textbook says AI makes our lives better. Do you want AI at home?

A: Yes. I want an AI cleaner. There are a lot of useful AI products that can help us. (後略)

② パフォーマンステストにおいて、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を提示する。

③ 普段の授業における言語活動等を教科会で検討

→ 帯活動として Small Talk を位置付けること、単元終末にだけ言語活動を設定するのではなく、1時間目から授業の中心が「話すこと[やり取り]」の言語活動となるように単元を計画する。

### (3) 改善後のテスト After

パフォーマンステストの例（2年生○学期末）

#### ① 実施方法

- ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況等が書かれたカードを提示する
- ・教師と2分程度のやり取りを行う

#### ② カードに提示したコミュニケーションを行う目的や場面、状況

互いの新たな一面を知るために、次の冬休みの予定について、自分のことを話したり、あなたから質問したりして2分間やり取りを続けましょう。

#### ③ 話すこと [やり取り] の採点基準の例 ※CはBの基準に満たないもの

	知識・技能	思考・判断・表現
A	誤りのない正しい英文で話している。	自分の考えを述べたり、質問したりすることを繰り返して、会話を続けている。
B	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話している。	自分の考えを述べたり、質問したりして、会話を続けている。



改善後の生徒の姿（例）※生徒の発話は原文のまま

T: [カードを提示] What do you want to do during winter vacation?

S: I want to do ski.

T: Oh, you want to ski.

S: Ski and board... ski board... And snowman, make a snowman.

T: Oh, you want to make a snowman. Nice. I know you are a skier. Do you snowboard?

S: Yes. Snowboard! Ah, snowboard is... is ... hobby! Hobby! Yes, Hobby. How about you?

T: I want to ski, and I want to watch TV.

S: Do you like TV channel?

T: Yes. My favorite TV program is *Hakone-Ekiden*.

S: *Hakone-Ekiden*!? [興味がある話題のため、身乗り出して] I like... I like *Hakone-Ekiden*. (以下略)

#### 【評価の実際】

- ① 生徒の発話に誤りはあるが、コミュニケーションに支障がない程度であるので、「知識・技能」はB評価とした。
- ② 自分の考えを述べたり、相手に質問をしたりすることを繰り返していたので「思考・判断・表現」はA評価とした。

### (4) 授業における言語活動 ～指導と評価の一体化に向けて～ 帯活動展開案→



- ① 授業の開始の10分を使って、継続的に Small Talk を行った。
- ② 話題は、その時期の旬の話題や「帯活動展開案（文部科学省）」から選んだ。
- ③ Interactive Teacher Talk（教師が生徒を巻き込みながらやり取りをすること）で話題に興味・関心をもてるようにした。
- ④ 「中間指導」では、言いたかったけど言えなかった表現の確認や Unit Goal や Today's Goal に沿ってやり取りを行っていたペアを全体に紹介し、会話を継続・発展させるための視点を共有した後、2回目のやり取りにつなげるようにした。